

俵 賞 名 誉 会 員



SIR MONTAGUE FINNISTON
Chairman, British Steel Corporation
President, The Metals Society

モンターギュ・フィニストン卿は 1912 年生れ、グラスゴーの王立科学技術大学冶金学科を卒業後、同大学講師、スチュワード・アンド・ロイド製鋼会社研究員、スコットランド・コークス研究委員会主任研究員を歴任、戦時中は英国海軍科学局および供給省に勤務した。

1948 年ハーウエルの英国原子力公社の主席冶金技術者となつた。同所が英国の原子力計画に関連する多くの基礎的冶金研究を遂行し、ハーウエルが世界的名声をえたのは 10 年余に亘る卿の指導によるものである。

1959 年ニューキャッスルの国際研究開発会社常務となり 1967 年英国鉄鋼公社設立と共に同社に移り技術担当副総裁を経て、1973 年同総裁に就任して現在に至っている。

この間 1969 年には英国学士院のフェロー、1970 年には同院副院長に選任された。

卿は英国金属協会 (The Institute of Metals) の諸事業を積極的に推進し 1967~68 年には会長に選任された。1969~73 年には英国鉄鋼協会 (The Iron and Steel Institute) の副会長に就任した。卿は早くから金属鉄鋼両協会の合併を主唱し、英国金属学会 (The Metals Society) の創立と共に初代会長に選任された。

卿は 1974 年にベツセマー・ゴールド・メダルを受け本年 2 月サーの称号を贈られた。

現在、冶金技術者協会会長、全国経済開発協議会委員、国際研究開発会社社長、A S L I B 副社長などを兼務している。